

ふれあい

2011

8

No.293

牛久愛和総合病院 広報誌



こどもの感染症

小児科医長 稲見由紀子



こどもはよく風邪をひくと昔から言われます。これはなぜでしょうか。こどもはなぜ感染症にかかりやすいのか。今の季節に多い感染症にはどのようなものがあるのか、予防するにはなにに注意すればよいのかについてお話しします。

1. なぜこどもは感染症にかかりやすいのでしょうか？

生まれたばかりの赤ちゃんは、母親から胎盤を通じて免疫物質を受け取り、守られています。その免疫物質は生後徐々に減っていき、半年くらいで底を減ってしまいます。そのため生後6カ月くらいから自分でつくる免疫物質の量がある程度増えてくる3歳前後までは、免疫力が弱く、様々な感染症にかかりやすくなります。

2. 夏に流行しやすいこどもの感染症にはどんなものがあるのでしょうか？

いわゆる「夏かぜ」といわれるものです。ウイルスの種類によって特徴的な症状があります。代表的なものを紹介します。
*手足口病・手や足、口の中に水疱ができる。のどの痛みがあることもある。今年は特に流行しており、今年のタイプは初めに発熱を伴い、発疹もお尻や陰部にできるものが多い。
*ヘルパンギーナ…突然38〜39度の高熱が出る。のどに強い痛みを伴う発疹があり、まもなく潰瘍になる。熱は3日程度で下がる。
*プール熱（咽頭結膜熱）…39〜40度の高熱が4〜5日続く。のどが赤くはれて強く痛み、目の充血がおこる。
いずれもウイルス感染症で、ウイルス自体に作用して治す薬はないので、症状を和らげる対症療法が中心となります。おうちでは、水分を十分にとつて、のどが痛くてつらい時には、ヨーグルトやゼリー、おかゆなどの食べやすいものを食べさせてあげましょう。熱が高いと頭が悪くなってしまうのではないかと心配されるご家族も多いので

すが、通常の高熱（40度台）だけでしたら、そういうことはありません。水分がとれているか、あやせば笑うか。などに注意してみてください。高熱や嘔吐による脱水症状（おしっこ回数や意識がもうろうとしたり、けいれんがある時には、速やかな受診が必要です）

3. 予防のためにはなにをすればよいでしょうか

1) 一般的なこと…もつとも手軽で効果的な対策は、外出後のうがいと手洗いの習慣をこどもにしつかり身につけさせること。これはこどもだけでなく、大人にも大事な習慣です。また、汚れた手で目をこすらないこと。タオルや歯ブラシは一人ずつ違うものを使うことも教えてあげましょう。また疲れた時には抵抗力が落ちるものです。十分な睡眠と栄養バランスの良い食事をとり規則正しい生活をおくることも大事です。
2) 腸管出血性大腸菌感染症を避けるために…こどもには、生肉、生レバーを食べさせないでください。
(2面につづく)

3) 予防接種

予防接種で予防できる疾患があります。命に影響するような重篤な疾患、あるいは集団で流行しやすい疾患について各種の予防接種が開発され、子供たちを守ってくれるようになりました。日本はこどものワクチンについては諸外国に遅れをとっています。必要なワクチンのすべてが無料（公費）でうけられる体制にはなっていないこともあって、接種率がまだまだ低いことが問題となつていますが、いずれも大切な予防接種です。ぜひ積極的に受けて大切なこどもたちを感染症から守つてあげましょう。（小児科学会が推奨するワクチンスケジュール…
http://www.jpeds.or.jp/saisin/saisin_110427.pdf）



品はじめまして

- ①担当 ②専門とその紹介 ③出身大学 ④趣味 ⑤生年月日 ⑥血液型 ⑦星座



7/1付入職 脳神経外科 橋出秀清 (東京女子医科大学)

①土曜日・午前
②7月から転勤して参りました。スタッフの方々は協力的でかつ熱心です。これから共に刺激し合い、脳神経外科を盛り上げたいと思います。
③日本医科大学 ④車、ドライブ ⑤昭和57年7月11日 ⑥B型 ⑦かに座



7/1付入職 看護部 相川昌子

患者様を第一に考え、自分自身にも負けないように一生懸命やりたいと思います。
血液型：O型 趣味：料理



7/1付入職 看護部 小貴真由美

最近ゴルフにはまっています！
性格はすごく天然っぽく、よく言われますが最近まであまり自覚がなかったです。(笑)



7/16付入職 企画部 井代子

今、不安と期待と緊張で一杯です！ご迷惑をお掛けすると思いますが、笑顔で努力致します！！



6/30付退職 脳神経外科 細野純仁

一年三ヶ月と短い間でしたが大変お世話になりました。数々の貴重な経験を積むことができとても勉強になりました。皆様方に支えられながら医師として成長できたこと心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

電子カルテ導入 ～ 8月15日より ～

当院では、更なる医療サービスの向上と、より安全な医療の提供を目指し電子カルテを導入いたしました。それに伴い受付開始時間、会計受付など、いくつか変更になっていきます。

8月1日より

- ・ B館の自動再来機の受付開始時間 7時30分から 8月15日より
- ・ A館の会計受付・初診受付・自動再来受付機がB館に統合
- ・ B館に自動精算機導入

はじめは、職員が不慣れな点や想定外のトラブルで、待ち時間が長くなったり、一部受診手続きが変わるなどで、何かと迷惑をお掛け致しますがご理解とご協力をお願い致します。ご不明な点は職員までお尋ね下さい。

学会発表

第61回 日本病院学会

H23年7月14日・15日、新宿の京王プラザホテルにて第61回日本病院学会が「医療の質向上を目指してー生きた有機体としての病院ー」をテーマとし、開催されました。



当日は、医療に関わるあらゆる職種が一同に会し、シンポジウム、ワークショップ、一般口演、ポスター発表など充実したプログラムで、日本の医療の質向上について考える場となり、有意義な学会参加となりました。

今回、当院からは看護ケア部門において「クリンルーム長期滞在血液疾患患者の感情調査ーPOMS（短縮版）を使用しー」という演題でA5F佐藤美香子主任が発表をされました。看護の質を向上させるためには、自分たちの提供する看護を評価し、改善していくことが不可欠であり、研究は絶好の機会となります。ご協力頂いた方々に感謝いたしますとともに、今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(看護次長 三村里美)

春秋園だより

鬱陶しい梅雨も明け、毎日暑い日が続いております。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

今回は、7月7日の七夕の様子をご紹介したいと思います。

6月下旬に、利用者様と一緒に思いを込めて、七夕飾りを作り、短冊には願い事を書きました。竹がフローアーに到着し、皆様と一緒に飾り付けをしました。



皆様、完成した笹の葉を見ながら季節を感じておられました。

続いては、「俳句の会」の作品をご紹介したいと思います。

今月の兼題は、「泰山木の花・杜若・南瓜の花・梅雨・さくらんぼ・蜘蛛・夏木立・時鳥」です。

隣のよりのび来し

南瓜花の咲き

「梅雨憂ふひと日の重き車椅子」

「荒梅雨の谷を揺るがす滝の音」

「老鶯や病窓広く開けしまま」

「梅雨しとど古井戸残る」

芋銭の居

今後も、素晴らしい作品の数々を紹介させて頂きますので、お楽しみに・・・。

(春秋園スタッフ一同)

『第16回』

生活習慣病教室 開催します

テーマ

循環器医からみた糖尿病の怖さ

日時 9月6日(火)

14時30分から約一時間

講師

循環器科 阿部医師

会場 牛久愛和総合病院

B館2階 大ホール

参加費 無料

糖尿病が循環器系病(動脈硬化など)に及ぼす影響のお話です。事前予約は不要です。ご興味のある方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加ください。



◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

電話

029-873-3111(代)

マリア・ナーサリー

マリアナーサリーには、現在81名の園児が在籍しています。保育士は、有資格者20名で保育しております。

特に、季節ごとの行事を大切にしています。節分の豆まき、ひな祭り、卒園式、十五夜、運動会、クリスマス会を行っております。夏は七夕祭り、プール遊びをしています。

七月七日の七夕集会では、朝からお母さんに浴衣を着せてもらい、子ども達はうれしそうでした。年長児6名が提灯を持ち



て、月ほーほーほたるこい月と歌いながら会場に入ってきました。灯りは提灯の灯りだけですが、小さい子ども達の待つ会場は、幻想的な様子に包まれました。その後、保育士の演じる七夕の人形劇を見たり、皆で歌ったり踊ったりしました。

前日に年長児が朝露を汲んで書いた初めての「七夕」の短冊が、笹飾りの中で風に吹かれて揺れていました。

学童達が学校の休みの日には、マリアに登園して来ます。今年の夏休みも元気な姿を見せて来ています。今年は、ヘリポートの使用が出来ませんので、毎日プール遊びに興じております。とてもにぎやかな保育園です。

時々、ご近所の林の中にお邪魔して、虫達と出会って夏の思い出を作っております。ご近所の皆様の温かいお心のおかげです。子ども達は、すくすくと成長し、暑い夏を乗り切ろうとがんばっております。(榊原)



《出来事ピックアップ》
かつば祭り
7/30



7月30日(土)に行われた第30回うしくかつば祭りに参加しました。
病院名が入ったお揃いの緑のハッピを身にまとい、春秋園と合わせて約200名で踊りました。当日は朝から天気が不安定で、開始直前まで開催が危ぶまれましたが、踊りパレードは雨も降らず、無事に行われました。気温、湿度共に高い中での踊りでしたが、脱水症状や熱中症になる人もなく、最後まで全員が

楽しく踊りきることができました。

今年も数週間前より踊りの先生方にご指導いただき練習を重ねた結果、「団結賞」を貰うことが出来ました。来年も練習を重ね入賞を目指します。また、今年のかつば祭りで見せた団結力を日々の業務(チーム医療)に活かしていけたらと思っております。

来年もかつば祭りに参加致しますので是非「愛和のかつば踊り」をご覧頂きたいと思っております。また、会場での応援も願います。

(福利厚生委員 飯田)

編集だより

病院も「節電の夏」に入りました。昨年に比べ今年には涼しく、節電も目標に近づいております。暑い日は、まだまだ続きます。節電にご協力ください。
(M・Y)



病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 504床 (一般445床 医療療養型59床)

施設

敷地 57,911㎡ 駐車場 1040台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
形成外科(アンチ・エイジング、レーザー)
皮膚科(レーザー)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.joinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラクス Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100

